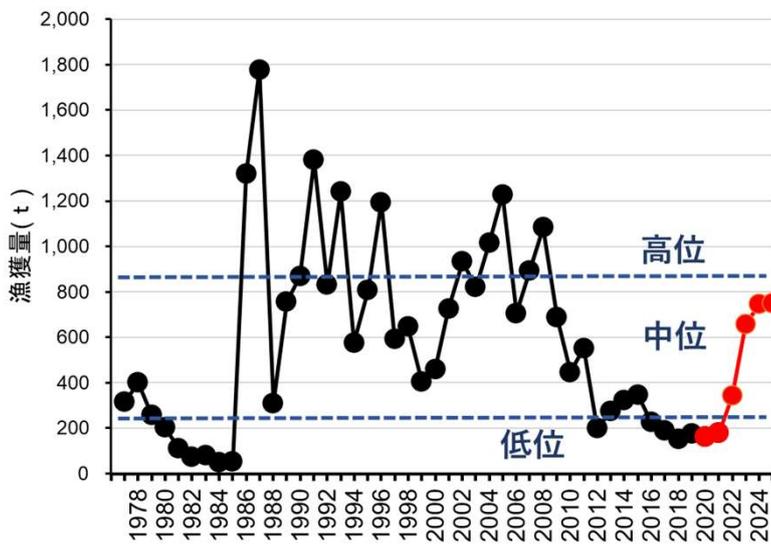


マアジ

令和8年1月

資源の動向 「中位・増加」



マアジ漁獲量の経年変化
(西湘定置網: 1977~2025年)

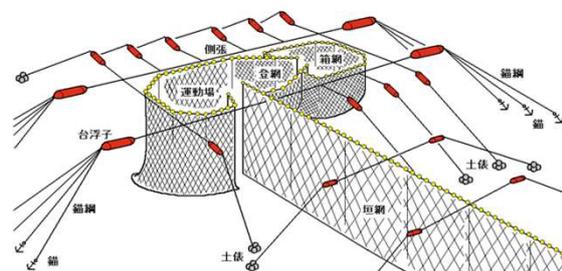
相模湾西湘地域のマアジ漁獲量は、2012~2021年は年間400トン以下と低迷していたが、2023、2024、2025年と好漁が続いている。

マアジ太平洋系群の資源量は、2023年より増加に転じ、相模湾におけるマアジ資源は「中位」、動向は「増加」と評価された。

対象漁業

○定置網

定置網の構造と各部の名称



生物学的特性



○分布: 日本の沿岸全域に分布し、日本海側の対馬暖流系群と太平洋側の太平洋系群で形成されるが、相模湾に来遊するマアジは太平洋系群である。

○成長: 相模湾で漁獲されるマアジは、1年で尾叉長18cm前後、2年で21cm前後に成長する。25cm以上のマアジでは、4歳~10歳以上の高齢魚も存在する。

○産卵: 産卵期は冬から初夏で、九州南部~本州中部以南で産卵し、各地先に参加する。また、大規模産卵場とされる東シナ海で発生した加入群が太平洋側の各地先に参加することもある。